京城日報
月曜　夕刊　本日朝刊四頁

泰、米英に宣戰布告

大軍、ビルマへ進撃開始

【バンコック二十五日同盟至急報】泰國政府は二十五日正午米英兩國に對し宣戰を布告した

【バンコック二十五日同盟】泰國政府は二十五日遂に泰國民衆待望の對米英宣戰布告を行つたが、これと同時に過去二ケ月餘り日本軍と協力、泰、ビルマ國境において嚴たる國境警備についてゐた泰國數十萬の軍隊にも一齊に進撃命令が下り、從來ビルマ軍の國境侵犯を防守擊攘するのみであつた泰軍は日泰協同作戰の妙を發揮して二十五日午後俄然攻勢に轉じ北部國境〇〇および〇〇方面では既にビルマ領內に積極的進撃が開始された

帝國政府に正式通告

【バンコック二十五日同盟】泰國政府は二十五日正午米英兩國に對し宣戰を布告したが、同一時半ピブン首相はわが大使館を通じ帝國政府に正式通告した

（上）ピブン首相　（下）アナンダ・マヒドール國王殿下

宣戰布告文

【バンコック廿五日同盟】泰國政府は廿五日正午次の如く米英兩國に對する宣戰布告文を發表した

アナンダ・マヒドール泰國王の名において次の如く聲明す、米英兩國は泰國々籍內にその軍隊を越境せしめ、あるひは泰國の都市へ爆撃するなど種々なる方法をもつて泰國に對し侵略的行爲を行ひ來つた、かくの如き行爲は國際法に違反する、同時に又人道に背馳するものである、其故に泰國は泰國憲法第五十四條によつて米英兩國と一月廿五日正午より戰爭狀態にあることとなつた、泰國人民よ最後の勝利を贏ひ得るため全力を擧げて政府と協力せよ、しかして平時の如く平靜各々職分に邁進せよ、泰國在住の外國人および敵國籍人は泰國政府によつて與へられた友邦人たるの名に値するが如く行動せられよ

續々と皇軍に捕虜となるイギリス軍の印度兵（マレー戰線）

コーカレイ撤退　英側自認

【バンコック二十四日同盟】……モールメイン附近の新陣地に撤退せる兵力を集結、同地防衛に當ることとなつたと報じてゐる

大東亞戰爭史に赫々

「不」「朽」「の」「大」「戰」「果」

週間綜合戰況發表

大本營發表

（二十五日午後四時四十分）帝國陸軍部隊の一月十五日より同二十三日までにおける各方面の戰況次の如し

獅子港爆擊廿八回　敵機百八を擊墜破す

マレー戰線

（一）西海岸方面　西海岸方面を追擊するわが部隊は十五日正午要衝マラッカを占領し引つゞき追擊を續行、その先鋒部隊は同日夕すでにムアール河を渡河し同河左岸の敵に對し攻擊を開始し、同方面の敵はタムピン、マラッカの線において抵抗を企圖せるもわが果敢なる追擊を拒止し得ず、新たに後方より有力なる兵團を招集し、ムアール河、ゲマスの線において抵抗せるもののごとくムアール河左岸一帶には堅固なる陣地を構築してこの抵抗また頑強を極む、この間わが有力なる海上機動部隊はよく潛水艦の脅威と執拗なる敵飛行機の攻擊とを排擊し十六日午前十一時頃ラバトパハ附近に上陸しムアール河左岸の敵背後を急襲す、主力部隊はこの機を逸せず河幅四、五百メートルの大河を強行渡河して攻擊敢行し、遂に二十日バクリおよびパリスロン附近ムアール河左岸一帶の地區を占領しさらに戰果をジョホール平原南方に擴大中にしてその先鋒は廿二日ヨンペン西南方地區に進出せりムアール河畔の戰鬪において敵の獨立第四十五旅團を殲滅せしこと確實にして二十二日までに判明せる戰果左の如し

鹵獲品、十センチ級火砲八門、戰車（輕裝甲車を含む）約四十輛、自動車數百輛、俘虜少くも七百

（二）中央方面　マレー半島中央方面を追擊するわが部隊は十三日セレンバンを、十四日タムピンを占領し、十六日以來ゲマス東方地區に陣地を占領せる有力なる敵に對し攻擊を開始す、當面の敵は頑強に抵抗せるもわが強力なる部隊の迂回により十八日潰滅退却を開始せり、よつて部隊は機を失せず敗敵を急追し十九日夕刻その先鋒はベトアナム附近を突破し廿日セガマを完全に占領せり爾後部隊はジャングル地帶を克服しつつ隨所に敵の抵抗を破碎して廿二日その先鋒部隊はラビス西方地區に進出引續き南進中なり

セレンバンにて押收せる鐵道貨車左の如し

機關車十五輛、油槽車十一輛、客貨車五百二十八輛その他資材多數

（三）東海岸方面　クワンタン方面より南下中のわが軍は有力なる部隊をマラン、カラクを經てクアラ・ランプールに向ひ轉進せしむるとともに爾餘の部隊をもつて十五日午後北方地區に達しエンダウ河の敵前渡河を準備す、當面の敵は十七日夜以來退却を開始するに至る　部隊は廿日エンダウを占領し引つづき敵を追擊して廿二日午前メルシン北方地區に達し爾後同地附近の敵を攻擊中なり

（四）陸軍航空部隊　一月十五日來連日にわたり戰鬪機聯合の大編隊をもつてシンガポール大空襲を續行し市街主要軍事施設を徹底的に潰滅せしむるとともに殘存敵空軍に致命的打擊を與へつゝあり、開戰以來シンガポールを空襲せること實に二十八回の多きに達し敵はわが軍の連日にわたる猛襲にかかはらず蘭印および印度方面より多數の精銳機を增援し抗戰を繼續しつつあるものの如しなほわが有力なる部隊は地上部隊の果敢なる進擊作戰に協力して着々戰果をあげつつあり、この間における戰果左の如し

擊墜五十五機、擊破五十三機、計百八機

長驅ダヴオイ攻略　大擧ラングーン連爆

ビルマ戰線

（一）泰、ビルマ國境を突破せる我軍は十七日テナセリム河を渡河し同日夜半カウメダン附近に陣地を占領せる約六百の敵を夜襲、これを潰滅するとともに十九日未明長驅テナセリム地方の要衝ダヴオイを衝き午後七時三十分これを完全に占領し爾餘の作戰を準備中なり

ダヴオイ附近攻略戰果左の如し

鹵獲品、山砲二門、機關銃一一挺、小銃三二八挺、各種銃彈藥一〇萬發、自動車一〇輛その他鹵獲品多數、俘虜五一、遺棄死體五七七〇

（二）陸軍航空部隊は泰、ビルマ國境山岳地帶の地上突破作戰に密接に協力すると共に大擧ラングーンを空襲し多大の戰果を收めたりまた一月十七日有力なる部隊は蒙自飛行場に進攻し西南支那方面軍國空軍の再建を徹底的に粉碎し、この間における戰果左の如し

擊墜三七機、擊破一三機、計五〇機

敵陣地蠶食中

比島戰線

（一）バタアン半島およびコレヒドール島要塞に依據を保ちつゝある敵を攻擊中なるわが部隊はナチブ山麓一帶の嶮難たる地形を克服しつつ主力は十四日ナバタン河の線を越え要衝アブカイを攻略、爾後逐次要點を奪取しつつ敵陣地を蠶食中なり、またオロンガポおよびグランデ島を攻略せる部隊はさらにモロン地區に驀進し、二十一日激戰ののちマウバン附近の敵陣地を突破して南進するとともに一部をバガツクに迂回せしめ半島唯一の東西連絡線を遮斷せり、バタアン半島方面の敵兵力はその數三萬五千を超ゆるものの如し、なほオロンガポおよびグランデ島攻略戰々果にして十五日以降において判明せるもの下の如し

四〇センチ加農砲二門
二五センチ加農砲四門
二〇センチ加農砲、一五センチ榴彈砲各一門
一五センチ加農砲三門
高射砲二門、野砲七門
その他彈藥など多數

（二）陸軍航空部隊はバタアン半島における敵攻擊中の地上部隊の戰鬪に協力して敵陣地を爆擊するとともにコレヒドール島要塞附近の艦艇を攻擊し大なる戰果を擧げ敵を制壓しつゝあり、この間における戰果左の如し

擊墜八機

ビスマルク島　敵前上陸

一月二十三日未明ニューブリテン島ラバウル附近に上陸せる陸軍部隊は頑強なる敵の抵抗を排除して午後一時三十分ウナカナウ飛行場（ラバウル西南方）を完全に占領せり、ウナカナウ占領戰果左の如し

鹵獲品、飛行機二機、火砲七門、その他多數

重慶軍の蠢動擊滅　支那大陸の戰果亦甚大

各方面にわたり敵を擊滅して重慶軍の蠢動を完全に膺懲せり、大東亞戰爭勃發以來一月中旬までに判明せる戰果つぎの如し　鹵獲品迫擊砲三〇門、重機關銃五五挺、輕機關銃七七挺、小銃七、二二四挺、俘虜三、八一九、遺棄死體三五、九二八

タラカン全島　戡定を終る

（一）蘭領ボルネオ　タラカン島に上陸せる部隊はいまだ降伏せざる殘敵を掃蕩中なりしが十四日ジウサタおよびゴシチャゴールの油田の接收をもつて全島の戡定を終れり、なほ同島において收めたる戰果左の如し

俘虜八七四、高射機關銃九門、重機關銃六九挺、小銃五五六挺、裝甲自動車十五輛、自動車など六十七輛、彈藥その他軍需品多數

タラカン島戡定作戰におけるわが軍の損害左の如し

戰死八、戰傷三一（重傷を含む）

（二）陸軍航空部隊　しばしばスマトラ島敵空軍基地を空襲し蘭印空軍に對し多大の損害を與へつゝあり、その狀況左の如し

一月十七日戰爆聯合の大部隊はパカンバル飛行場を襲擊し大中型九機を炎上、同五機を爆破せり

一月二十三日有力なる部隊は長驅一千餘キロを翔破してパレンバン飛行場を強襲し大型一機炎上、戰鬪機五機を擊墜せり

（三）英領ボルネオ方面　クチン攻略部隊は英蘭國境に蠢動する蘭印軍を攻擊これを擊退しつつ前進し十六日蘭領ボルネオ西部の要衝ヒザンを奪取し引續き進擊中なり

對樞軸經濟斷絕案　リオ會議で可決

【リオデジャネイロ廿四日同盟】廿四日のリオ會議は對樞軸國交斷絕案の米洲防衞委員會通過の後を受けて對樞軸經濟關係斷絕案を經濟提携委員會で審議した結果、全會一致で可決した、決議內容はまだ發表されてゐないが、恐らく外交關係斷絕案同樣微溫なる勸告案に過ぎないものとみられてゐる

萬里の波濤を制し克く上陸に成功

參謀總長・陸相から現地將兵に祝電

【大本營發表】陸海軍の緊密なる協力により廿三日未明ビスマルク諸島の敵前上陸成功に對して杉山參謀總長および東條陸軍大臣は陸海軍現地部隊兩最高指揮官に對し左の如き祝電を發した

▲ビスマルク島方面陸軍指揮官宛

萬里の波濤を制し艱難を冒して克く上陸に成功せるを祝す、こゝに衷心より將兵の努力を多とすると共に益々御健鬪を祈る

▲聯合艦隊司令長官及現地艦隊ならびに現地海軍航空部隊指揮官宛

ビスマルク作戰の赫々たる成功を祝す

★　★

わがビスマルク上陸作戰　文字通りの電擊

米、英、濠の心膽寒し

英政府緊急閣議

【リスボン二十四日同盟】ロンドン情報によればイギリス政府は二十四日緊急閣議を開き、濠洲からの最近の情報に基づき東亞情勢に關する重要協議を遂げたが、濠洲の危機に對し、イギリスは如何なる方策をとるべきかについては確かなる結論は出來得なかつた模樣である

【リスボン二十四日同盟】カンベラ來電によればカーチン濠首相は一場を英國政府の方策に明確に表現せしめるため英戰時內閣に濠洲代表を參加させるやう要請、廿四日次の如く聲明した

今や濠洲が今次戰爭において最高の戰略的役割を演じてゐることは明白となつた、從つて余は戰爭遂行に關する討議において濠洲側の要請が直接聽かれるやう英帝國戰時內閣に濠洲代表を參加せしめることを要求する、またわれ〳〵太平洋と特に關係深き國々をもつて協議會を結成し、この方面の作戰につき最も有効なる協力をなすことを要求する、太平洋方面の戰爭を遂行するためには反樞軸勢力の總動員を必要とすることは明かである、今やわが國民に課せられた義務は實に重且つ大となつた、それ故われわれ太平洋方面に在留する九百萬の英人を動員してこれに當り民主主義を擁護せねばならない

香港に總督府　占領地狀況

砲七門、その他多數

……軍は占領地に對し軍政を施行し住民よく皇軍の眞意を諒解し爾後敵は退却に當り軍事施設のみならず交通通信、重要產業施設にわたり徹底的にこれを破壞せるをもつてその回復容易ならざるものあるも占領地各般の建設は逐次その緒につきつゝあり、但し香港は一月十九日香港占領地總督府を設置し治安は急速に回復し、またマニラはわが軍の軍政下にヴアルガス氏をして市政を實施せしめ市內の秩序は逐次向上しつゝあり

リオ會議に強硬態度　獨外務省表明

【ベルリン二十四日同盟】獨外務當局はリオ會議に關し二十四日記者團會見において強硬態度を示し次の如く言明した

リオ汎米外相會議においてどんな決定が出來るか未だ新聞情報で傳へられてゐる以外には全然わからないが、米代表ウエルズ國務次官の目的としてゐるのは中南米諸國を騙つて樞軸國に對し參戰させようとすることにあるとは明かである、しかしこれらの諸國の參戰は政治的、經濟的の破滅を意味する、また參加各國が外交的斷交を行へばこれは單に外交的關係だけに止まらず軍事的な紛爭に發展することも明かであり、軍事的紛爭が發生した場合にはハワイ海戰およびその後の戰爭經過から見て米國が參加諸國を防衞する力のないことは明かである、東條首相東鄕外相は、南米諸國が米國の策動に踊らされぬ限り平和關係を保障すると言明してゐるが、リオ會議はこの同情的言明を充分に諒解しなければならない

重慶空軍　佛印盲爆

【佛印〇〇基地二十四日】佛印〇〇基地〇〇部隊發表＝二十四日午後一時五十分頃（日本時間）重慶側空軍は昆明方面より十八機の編隊をもつて飛來、佛印北部國境を越境佛印領內に侵入國境附近山間に爆彈を投下したが、何ら日佛印軍の諸施設に損害を與へ得ず支那領內に飛去つた、なほ重慶空軍は廿二日にも佛印領內に侵入フランチユン東北方の佛印軍演習場を飛行場と誤認して之を爆擊、附近部落に八十個の爆彈を投下安南人村民に死者六名、負傷者廿五名を出したが、いづれも日本航空部隊の邀擊を恐れハノイ、ハイフォン方面に來襲する意思もなく、いづれも國境外に逃走した

佛政府、重慶に嚴重抗議

【ヴイシー二十四日同盟】ヴイシーフランス政府は重慶飛行機の佛印飛行場爆擊に關し二十四日重慶政府に嚴重抗議を提出した

＝人＝

◇林耕宇氏（中華京城總領事）廿五日夜大陸號で釜山へ廿八日歸任

南方戰線戰果日誌

昨年末から廿三日までに至る南方戰線の戰果作戰日誌

マレー方面 十二月廿九日夜半から卅日未明にかけて海鷲陸上部隊爆擊、卅一日陸軍部隊クワンタン占領、一月一日及び三日夜半海鷲丁島及び車港、テンガ飛行場爆擊、陸鷲は二日夜海丁島陸上軍事施設を爆破、マラッカ海峡にて敵貨物船一隻撃沈(六日)陸軍部隊はカンパル地區を抜きベルナム河口に進出(十日)陸軍部隊はトロラクを攻略タンジョンマリムを陷落(十日)陸軍部隊はモリブクラン及びラワン附近に進出(十一日)陸軍先遣部隊はクアラ・ランプールに突入(十一日)海鷲マラッカ海峡で敵驅逐艦一隻撃沈(十二日)陸鷲シンガポール西飛行場爆擊(十二日)陸鷲再度シンガポール爆擊、敵機廿三機撃墜撃破、第四次シンガポール空襲(十四日)陸鷲は第十四機を撃墜破、午後第五次シンガポール爆擊、第十五次爆擊敢行(十五日)陸軍部隊、マレー西岸の要衝マラッカを攻略(十六日)海鷲第十六次シンガポール爆擊(十七日)陸鷲シンガポール空襲、十六機を撃砕(十八日)海鷲も第十七次爆擊(十八日)シンガポール空襲、敵機擊破、海鷲第十八次空襲(廿日)敵バッファロー十五機撃墜(廿日)陸鷲シンガポール大空襲、七機撃墜、軍事施設を粉碎(廿一日)海鷲第十九次シンガポール爆擊、初見參のスピットファイヤー機を撃墜

ビルマ方面 (十七日)陸軍部隊突如ビルマ進攻、忽ちタヴオイ占領、モールメインに迫る

ボルネオ方面 十二月卅一日陸軍部隊英領ブルネイ、一日ラブアン島占領(十一日)陸軍部隊蘭領ボルネオタラカンに上陸(十一日)わが海軍部隊同セレベス島メナドに上陸(十三日)わが海鷲タラカン脱出企圖のオランダ軍艦プリンス・フアン・オラニエ號撃沈、ケマ上陸の海軍部隊カカス飛行場占領、海軍部隊敵機七機撃墜(十二日)海鷲セレベス島東岸トモリ灣、コロネダレ航空基地及びジロロ島アルナテを攻擊(十六日)セレベス島最北端リクパパン占領(十五日以降)バリックパパン(ボルネオ)マカッサル、バロポ、コロネダレ、ケンダリー(セレベス)テルナテ、ラブハ(ハルマヘラ)アンボン(セラム)攻擊、十機撃破、基地施設を爆破(十九日)スマトラサバンメダン兩港の施設爆破

太平洋上及島嶼戰線 陸海軍部隊はウェイク、ジョンストン、サンド、パルシラの島嶼を攻擊軍事施設爆破(廿三日)陸海軍部隊ビスマルク群島のニューブリテン島に敵前上陸、海軍特別陸戰隊同じくニューアイルランド島に敵前上陸

ハワイ方面 十二月卅一日我潜水艦は布哇島ヒロ港、マウイ島カフルイ港カウアイ島ナウイリウイリ港を急襲軍事施設を砲撃、敵艦一隻撃沈(八日)我潜水艦はジョンストン西南方米水上機母艦ラングレー號を撃沈(十二日)わが潜水艦ハワイ西方洋上で米最大の航空母艦レキシントンを撃沈

比島方面 十二月廿九日陸軍航空部隊に呼應海軍コレヒドル要塞砲撃、六隻爆破、卅日ベタアン半島マリベレス爆擊、一月二日午後比島首都マニラ完全占領成る、比島方面海軍部隊の綜合戰果(四日)撃沈破九九、飛行機撃墜破三六〇(二日)陸鷲ベタアン半島方面を爆擊・貨物自動車一五(五日)海鷲コレヒドール、マリベレスを爆擊水上機母艦一隻大破、四、船舶十隻撃沈破(六日)陸軍部隊コロールの敵陣を攻擊(四、敵五機を撃破、一機を撃墜(十日)陸軍部隊オロンガポ占領(十六日)海鷲ダヴァオ南方マリタ及びギラン電信所を爆破(十八日)海鷲セブン島在泊船舶攻擊

パレンバン(スマトラ最南端)の敵飛行場を猛爆
陸鷲初の長距離爆擊

【〇〇基地二十五日同盟】陸軍航空部隊は二十三日朝スマトラ最南端部のパレンバン飛行場に米英が世界に誇る所謂空の要塞ボーイングB十七敵機と蘭印戰鬪機カーチス二十數機のあるのを探知、初の長距離爆擊を敢行戰果を收めた、この日わが陸鷲精鋭は〇〇大隊を率いて〇〇基地を出發、亂雲の間を縫ひながら堂々の翼を張つて長驅一千數百キロを飛翔、午後零時パレンバン飛行場に達した

この時 早くも敵戰鬪機カーチスP三十六型、蘭印機バッファロなど十五機は猛然と攻擊して來たが、わが部隊は堂々の編隊を組みこれに壯烈な空戰を續けながら全彈を飛行場に投下、空の要塞一機に命中彈を浴びせた後敵機を完全に擊碎した

かくて 編隊は群がり來る敵戰鬪機と壯烈な空中戰を演じながら徐々歸途についた、敵はこの空中戰において確實二機、不確實二機、合計五機を擊墜されたにもかゝはらず、シンガポール西北カンパル河附近まで約四十五分追尾し來つたが、遂に敵はずと見てそのまゝ逃走、わが方は一機の損傷もなく無事歸還したのであつた

五機を擊墜

モルッカ群島爆擊(蘭印發表)

【リスボン廿四日同盟】バタヴイヤ來電によれば蘭印軍司令部は廿四日左の如き戰況發表を行つた
一、過去廿四時間内に日本航空部隊は蘭印各地に襲擊し來つた
一、即ち日本航空部隊は蘭領ボルネオ東岸およびモルッカ群島のテルナテに對し爆擊を加へた

新人の登場待望
任期滿了を俟つて 總選擧を斷行

【東京電話】前回の衆議院議員總選擧は昭和十二年四月卅日施行されたのでその任期は昨年四月廿九日をもつて終了する豫定であつたが、近衛内閣は支那事變遂行中なるの故をもつて第七十六議會に衆議院議員などの任期延長に關する法律案を提出協贊を求めて向う一ケ年延長した、よつて現任衆議院議員の任期は來る四月廿九日をもつて滿了するが、現内閣は大東亞戰爭遂行の最中であるにもかゝはらず、總改選を斷行する方針で臨んでをり東條首相も再開劈頭の衆議院において岡田忠彦氏の質問に答へ『今春行はれんとする總選擧は戰爭完遂のために積極的に國民の協力を求める絶好の機會と存じてをる』と總選擧目標まで明確にした、しかして一部には今議會は衆議院議員選擧法の規定により任期滿了の翌日たる四月卅日全國一齊に總選擧が施行されることとなる、而して大東亞戰爭遂行の最中であるにもかゝはらず政府が衆議院總改選を斷行せんとする所以は、首相の言明によつて明かな如く戰爭目的完遂のためにより完全なる擧國一致體制を整備確立せんとするにあり、總選擧目標がこの一點に集中されることはいふまでもないことである、すなはちより完全なる擧國體制を確立するためには眞に時局認識に徹底したしかも民意を代表せる議員を選出することが必要で、從つて新人の登場が望まれるのであるが、政府と表裏一體關係にある大政翼贊會および過般新設された大日本翼贊壯年團において政治運動にわたらざる範圍内において活潑な活動を展開するであらう、前回總選擧の際には選擧肅正中央聯盟が多年總選擧に際して肅正運動を展開したが、今次行はるべき總選擧に協力する運動は單なる選擧肅正運動と異り積極的意義を有するものだけに全國民の徹底せる協力が要請されてゐる
らますく結束を強化して選擧に對處する必要があるので、これまた選擧前に政治結社の屆出をなすべく準備を進めてゐる、第一控室(興亞議員同盟)、議員倶樂部、無所屬の各派は、思想的傾向からたがひに政治的立場が全然異るものが事務的に交渉團體を結成してゐるので、このまゝでは政治結社またはつの選擧團體としての結集は到底不可能であり、しかし若干の同交會をのぞいては各自少數の同志ブロックの綜合によつて個人資格第一主義で選擧に對處し選擧後の情勢によつて新政治力の結成を企圖する態度をとるものと見られる、しかして現議員にとつて當面の重大問題は
一、政府が戰爭下の選擧に對し如何なる施行態度をとるか
一、候補者の推薦決定方式を如何にするか
一、選擧運動の具體的方法を如何にするか
一、議會が二月中旬終了するとして選擧期日告示までの間を如何に行動するか
の諸點にあるが、來るべき總選擧は既往の總選擧とは全然異つた性格と國家的規模においてなさるべきは當然であり、そこに今次總選擧の歷史的意義と絶大なる期待が持たれるわけである

期日は來る四月三十日

衆議院の關心
總選擧問題に傾注

【東京電話】今期通常議會は再開劈頭における東條首相の施政方針演說により大東亞共榮圏建設の雄大なる經綸が明示されてより議會の性格、相貌は果然『建設議會』となり事實上二月中旬には一切の議案を議了し得ることがいよいよ確實視されるに至つたので、衆議院今の關心は期せずして議會終了後施行を豫想される總選擧問題に傾注されて來た、しかも政府は政界の一部に行はれてゐる選擧期日繰上げのための議會解散説を一蹴し、戰爭完遂上人心を一新、國民總力の結集を目標に總選擧を斷行する方針を堅持してゐるので、議會勢力方面の選擧熱は一層高揚され政府の選擧態度如何を注視すると共に眞劍なる考慮を拂ひ出した、如何にして時局即應の選擧に對處するか各派ともこれが對策に腐心してゐる、現在衆議院の中心勢力たる翼贊議員同盟が三百十名の絶對多數を擁するとはいへ院内交渉團體たる性格と微弱なる統制力をもつてしては到底總選擧には臨み得ないので、選擧前に一應現在の機構、性格を時局即應の選擧體制にまで改組するの必要に迫られてをり、同交會では時局の重壓か

けふの兩院

貴族院(本會議)午前十時開會恩給法改正案を上程、委員長報告後東條首相より過般の赤池濃氏の質問に對する答辯あつて可決、次で國家總動員法、國民貯蓄組合法、陸軍刑法、船舶保護法、獸醫師法の各法案を初め特別委員會に付託可決せる廿一案件を順次上程委員長報告通り可決して散會する(委員會)午前十時より戰時事業特別委員會、同十時半より同第二ならびに第三分科委員會、午後一時半より同第一分科會を開く

衆議院(本會議なし)(豫算總會)午前十時開會、質疑を繼續する(各特別委員會)增稅、赤字公債、米穀、日銀兵器事業、國民更生金庫、國民體力の各委員會は午前十時南方開發、郵便法の委員會は午後一時開會審議に入る

日曜氣配

今週の株式市場は大體において買玉整理一段落後の小康狀態に推移したものといへよう、衣料品の綜合切符制實施の發表と同時に一轉引戾し歩調に轉じたところから見ると新春以來の急反落も決して根本的基底に動搖を來したものではなく單なる買過ぎの高値としか考へられない、一方選擧物色買を背景として時局產業株は毅然たる頑強味を持續してゐるものが少くない、また右中心勢力としての貫禄を示してゐる東新相場は週初め三十一圓八十錢と幾分押目を深めたが、その後四圓台へまた引もどし三圓九十錢引けと穩やかに今週を終つたもつとも概して、相場の値幅が縮小し投機的妙味が涸いため活氣乏しい感は免れなかつた、しかしてあり、内には休會明けの議會が再開された大東亞戰爭の完遂と經濟建設に伴ふ重要法案の審議が行はれてゐるので、從來より一層愼重なる態度をとりその成行を靜觀せんとする向が多く、從つて休日明けも當分の間は突發的な刺戟材料が現はれない限り月末關係にあるので清算主力株は、概して變化なく個々の特殊材料含みのものは部分的な動きに推移するだらうと見られてゐた、東新一三三圓八十錢、大新七三圓八十錢、新鐘九五圓八十錢、鐘紡一五二圓八十錢、新紡一五二圓八十錢、日產五九圓六十錢